

令和7年度 学校教育目標「挑戦 つながる笑顔 丹那の子」

重点目標「自ら学ぶ子」「発信する子」「やり抜く子」



丹那小だより

函南町立丹那小学
令和7年10月発行

「自分らしい」成長

校長 土屋 清隆

厳しかった猛暑もやっと落ち着き、朝晩に吹く風も心地よい季節となりました。少しずつ秋の訪れを感じさせてくれます。保護者、地域の皆様におかれましては、日頃から、本校の教育活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。前期も残すところ10日間となりました。4月から半年間、子供たちの成長を支えてくださったことに対し、感謝申し上げます。

「リフレーミング」という用語を聞いたことがある方も多いと思います。枠組み（frame：フレーム）を再構築（re：リ）するという意味で、自分の枠組み（物事の見方や捉え方）を変えることをいいます。同じ物事でも、視点を変えると見方や感じ方が異なり、同じことが、長所になったりも、短所になったりもするのです。一つの価値観にこだわっていると、ときに行き詰まりを感じてしまいます。自分にとって欠点だと思えることも、見方を変えれば長所となりプラスに働くかもしれません。リフレーミングをして多面的にみることによって、不快な思いや否定的に感じる反応をポジティブな反応に変えられることもあります。短所だと思っていたところが長所として考えることができるようになると、長所・短所を含めた「その子らしさ」に目を向けることができるようになり、気持ちが前向きになります。

1学期の間に、どの子も頑張る場面があり、どの子も成長をしています。その頑張りや成長を認めて励ますことのできる仲間や大人がいるかどうかで、その後の成長は大きく変わります。丹那小学校は、子供たちを保護者の方や学校職員だけでなく、地域の方が見守ってくださり、成長を認め励ましてもらえる学校です。今後も子供たちの良さを認め、伸ばしていく学校づくりを進めます。引き続き、ご協力をお願いします。



オラッチェでの学習発表



実りの秋を迎えました。米（5年生）、サツマイモ（1・2年生）、落花生（4年生）